

## 平成 28 年度第 3 回運営幹事会議事録

作井技術委員会事務局 寺口敬秀

開催日時：平成 28 年 11 月 21 日（月）16:00~17:30

開催場所：日本海洋掘削株式会社 2 階 2M-2, 3 会議室

参加者：古谷委員長、末永、石黒、藁谷、工藤、長縄、日野、菅野、三好（代理出席）、前田、藤井、峰、寺口（敬称略・13 名）

欠席者：池田、佐藤、福島、木下（敬称略・4 名）

### 議題 1：各活動報告

#### 1-1. 大水深掘削技術分科会

- 第 22 回会合を 9 月 13 日に開催した（於：JDC 会議室）
  1. ドリルパイプの靱性（NKK シームレス鋼管 佐倉氏）
  2. 大水深掘削技術トピックス Huisman 社の掘削機器（日本海洋掘削 前田氏）
- 次回開催時期は未定  
次回テーマは「大水深用泥水システムの現状と技術課題」を予定（テルナイト 藤井氏）

#### 1-2. 若手技術者交流会

- 第 3 回会合を 11 月 4 日に開催した（於：JAPEX 会議室）。
- テーマ「傾斜井、傾斜掘りについて」
  1. 傾斜掘りの定義・および目的（JAPEX 片岡氏）
  2. 傾斜掘り機器、DD の業務（Schlumberger 森山氏）
  3. 傾斜測定に使用する機器（物理計測コンサルタント 永田氏）
  4. 傾斜コントロールや傾斜井で考慮する事（INPEX 櫻井氏）
- 次回開催時期は未定、次回テーマは「Rig の形状」「Cementing」が候補。
- 現時点では若手技術者交流会は正式な JAPT の活動ではないため、通常業務時間内に各社員が交流会にて講演を行うあるいは参加するとなると弊害が出る可能性があり、継続するためには分科会等へ移行する事も今後検討する必要がある。

#### 1-3. HP 委員会

- E-mail によるインターネット会議を適宜開催
- 現在検討中の事案
  1. 石油開発 ABC の改定について  
⇒内容が古く現状に合っていないため内容を再考する必要がある。
    - ・一部内容においては作井技術委員会にて新たな資料を作成する。
    - ・資料作成期日を作井事務局から HP 委員会に確認し、今後の幹事会にて担当の振り分けを行う。
  2. 協会誌の電子化と会員専用ページへの掲載方法について。  
⇒J-Stage にて公開するファイルの形式についての検討、電子書籍に対応させるか等を今後 HP 委員会にて検討する必要がある。

#### 1-4. 協会理事会

- 第 81 期第 4 回理事会を 10 月 19 日に開催した。主なトピックスとしては以下の通り。
  1. 会誌のデジタル化推進について  
⇒会誌のデジタル化により、現在の経費の半額程度に抑えられる見込み。
  2. 石油鉱業連盟との業務委託契約締結について  
⇒9 月 27 日に石油鉱業連盟・JAPT の第一回協議会が開催され、石鉱連より以下の提言がなされた。
    - ① 職員人件費に対する JAPT 負担割合の 5 割引き上げ  
⇒JAPT としては来年度も引き続き 5 割負担としたい。
    - ② 事務所管理費の JAPT 負担を免除から 5 割負担へ変更  
⇒25%負担という形で返答したい。
  3. 平成 28 年度秋季講演会について  
⇒10 月 20 日に東京大学にて開催された内容について説明した。

#### 1-5. 春季講演会講演原稿の編集状況

- シンポジウム原稿については 11 月 5 日に会誌編集委員・出版社による最終校正が終了。学生優秀発表賞原稿と共に、会誌第 81 巻第 5 号に掲載予定。

### 議題 2：平成 29 年度春季講演会について

#### 2-1. 開催概要

- 会場；国立オリンピック青少年総合センター（東京・代々木）
- 日程：2017 年 6 月 13 日（火）～15 日（木）
  - 13 日（火）第 82 回定時総会・特別講演会
  - 14 日（水）作井部門シンポジウム
  - 15 日（木）作井部門個人講演
  - 16 日（金）見学会（地質巡検コース・施設見学コース）

#### 2-2. 個人講演投稿要領

- 申込期間：12 月中旬～平成 29 年 2 月 3 日（金）
- 講演要旨原稿期日：平成 29 年 4 月 19 日（水）

#### 2-3. シンポジウムテーマの検討

- シンポジウムテーマに関しては以下のテーマについて協議が行われた。
  - ① 他業界の掘削業務について／新技術適用事例の紹介  
⇒地熱掘削、水掘り、科学掘削、水溶性天然ガスなど、石油掘削以外の掘削技術や、3<sup>rd</sup> Company の技術紹介を行う。
  - ② 低油価環境への作井技術の対応  
⇒油価の影響でプロジェクトの経済性が悪化する中、より開発コストのかかる非在来型資源開発ではどのような工夫をしているのか、各社の取組みを紹介する。

③ 過去と現在のパフォーマンスの差

⇒過去のシンポジウムにおいて、安全・パフォーマンス・新技術などのテーマが掲げられてきたが、実際に過去と現在を比較してどのような差があるのか。また、過去に課題として挙げられていた事項は現在解消したのか、企業としてどのような取り組みを行ったのかを検証する。

④ 石油業界におけるメディア活動、外部露出、広報活動

⇒工場見学や社会活動を通じて業界・業務への一般理解を深めている企業も多い中、石油業界は実態が掴み難く、知名度等も他企業・業界と比べると低く感じる。その中で、石油業界の認知度向上や学生に対して興味を持ってもらうための活動としてどのようなことが挙げられるか議論を行う。

- 上記のうち、「③過去と現在のパフォーマンスの差」をベースに裾野を広げ、過去のシンポジウムにおいて“課題”や“挑戦”といったキーワードを扱った講演を抽出し、当時から現在に至るまでの間にどのような対応がなされ変化してきたか、実際に成果が出たのか、今後の見通し等を紹介・議論を行うという方針で纏まった。
- 討論会の形式については、本年度と同様にワールドカフェ方式を採用する。

【参考】過去のシンポジウムテーマ一覧

年	テーマ
2016	技術の伝承 - 人材育成の在り方
2015	掘削オペレーションの成功と失敗から得た教訓
2014	メキシコ湾原油流出事故の総括
2013	進歩する機器・素材と坑井デザイン ~ 多様化するデマンドへの対応 ~
2012	天然ガスビジネスにおける作井技術
2011	メキシコ湾の事故から学んだもの ~ 坑井のリスクコントロール ~
2010	海外プロジェクトの現状と課題
2009	掘削技術の現状と課題
2008	作井技術者の育成とHSEへの取り組み
2007	作井における技術者の挑戦
2006	新規技術と研究の現状
2005	改修と仕上げ ~ 坑井の健全性確立への取り組み ~
2004	ウェルコントロール
2003	海洋石油・天然ガス開発 - 大水深の現状と見通し -
2002	20世紀からの贈り物 - 掘削トラブルからの教訓 -
2001	ベストパフォーマンスの追及
2000	技術と工学のインテグレーション
1999	Health, Safety and Environment
1998	近年の掘削技術の動向と将来への展望
1997	海外オペレーション
1996	作井における教育と安全問題
1995	海洋におけるオペレーション
1994	高傾斜・水平坑井開発技術
1993	大深度掘削にかかわる技術的問題

以上